

岐阜県で豚コレラの疑似患畜を確認(国内11例目)!

3月7日、岐阜県山県市の養豚農場において、豚コレラの疑似患畜が確認されました。

飼養されている豚、いのししでの確認は11例目となります。

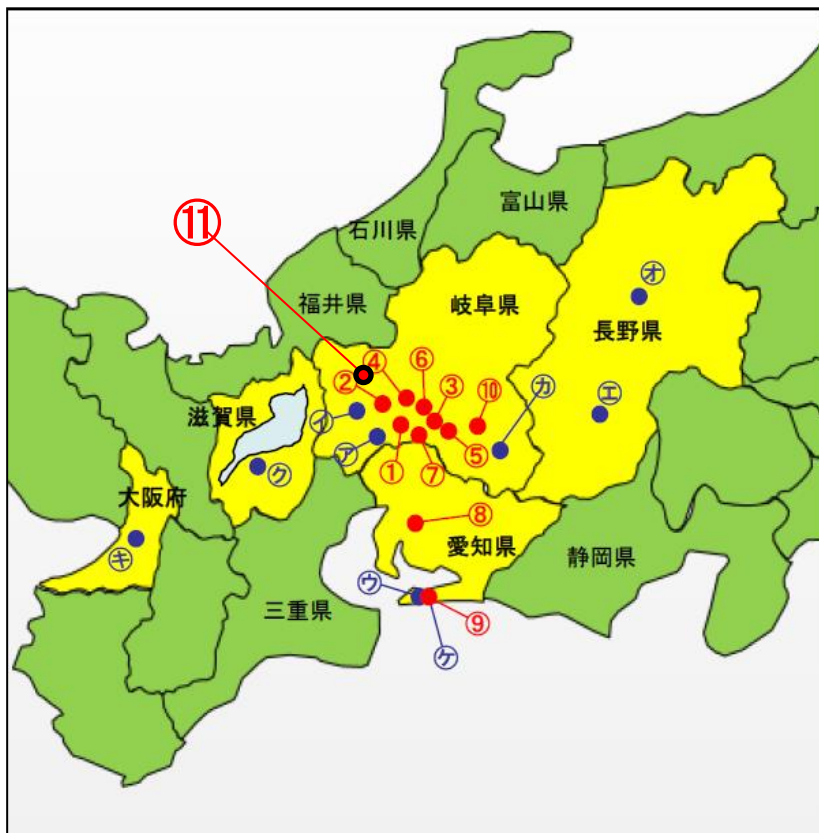
発生概要

◆発生農場

- ・所在地: 岐阜県山県市
- ・飼養状況: 1,296頭

◆経緯

- ・3月6日、食欲不振の豚がいるとの農場からの報告を受け、立入検査を実施。
- ・同日、家畜保健衛生所の検査で豚コレラの疑いが生じたため、精密検査を実施したところ、3月7日、豚コレラの疑似患畜であることを確認。



※ ㊦~㊧は、発生農場の関連農場又はと畜場

豚、いのしし飼養者の皆様へ

野生いのししの侵入防止など、本病の発生予防に努めていただきますようお願いいたします。

毎日の健康観察と異常の早期発見・早期通報をお願いいたします。

**豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。
また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。**

豚コレラ、アフリカ豚コレラの「特定症状」が定められました。

特定症状を呈している家畜を発見した場合は、届出が義務づけられています(家畜伝染病予防法)。

◆家畜の種類:豚、いのしし

◆特定症状(以下のいずれかの症状)

○耳翼、下腹部又は四肢等に紫斑があること。

○同一の畜房内において、以下の症状を示す豚、いのししが、概ね一週間程度で増加していること。

①40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退

②便秘、下痢

③結膜炎(目やに)

④歩行困難、後躯麻痺、けいれん

⑤削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)

⑥流死産等の異常産の発生

⑦皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便

○同一の畜舎内において、概ね一週間程度複数の繁殖又は肥育に供する豚、いのししが突然死亡すること。

※ただし、他の疾病や設備の故障、気温の急激な変化、非常災害等豚コレラ及びアフリカ豚コレラ以外の事情によるものが明らかな場合は、この限りではない。

豚コレラの症状



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎